

常葉大学短期大学部保育科の学生さんに聞いてみました。

常葉大学短期大学部の PR

Beyond the Limits できないことなんてない

今回、お二人の学生さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

◆お1人目の学生さんです。

Q1：アンケートに答えてくれた学生さんの学部・学科、学年、性別

保育科 1年 女性

Q2：保育士を目指そうと考えたきっかけは

小学6年の時に弟が生まれ、面倒を見るなかで元々子どもが好きだったこともあり保育という仕事に興味を持ちました。その後ボランティアや職場体験で保育園へ行った際にとても楽しく、やりがいを感じ目指そうと思いました。

Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

高校が常葉高校で大学と連携していたため、附属高校推薦で受験しました。高校時代定期テストはもちろん小テストなども手を抜かず、また委員長などにも挑戦し、推薦枠を取れるよう努力しました。附属校推薦は面接のみの受験のため、面接ノートを作り先生と沢山面接練習を行い受験に備えました。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

造形・図画工作の授業では、様々な技法を実際に試しながら楽しく学んだり、また先生役・子ども役に分かれて個人やグループで考えた指導案をもとに実践したりします。

Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

保育実習で乳児と関わり、1歳児の自我に対する援助に苦労しましたが、一日一日反省をし、関わり方を自分なりに考え実践し、上手く援助できた時は達成感を感じました。

また自分がなにげなく行った援助で、1人の子に成長が見られたと担当の先生から教えていただき、こうした実習という形で子どもの成長に関わることができたと思うととても嬉しく、保育者のやりがいを感じました。

Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けて

メッセージをお願いします。

保育士は子どもの成長に関わることができる、とても素敵な仕事だと思っています。子どもが好き、保育士に興味があるという方がいたら是非、保育が学べる高校・大学などに進学してみてください。大変なこともあるけれど、同じ目標を持った友達と学ぶことはとても楽しいです。頑張ってください。



学内演習中の様子



◆お二人目の学生さんです。

Q1：アンケートに答えてくれた学生さんの学部・学科、学年、性別

保育科 1年 女性

Q2：保育士を目指そうと考えたきっかけは

年の離れた弟のお世話をしたり、地域の子どもたちと関わったりする中で子どもって可愛い好きだなと感じ、子どもと関わる仕事がしたいと思い保育士を目指すようになりました。

Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

私は、常葉の附属高校に通っていたので附属高校入試を利用しました。筆記試験とピアノの実技試験と面接があったので、バイエルを先生や友達に聴いてもらい人前で演奏することに慣れるよう何度も練習しました。面接練習では保育に関するニュースにも目を向け、色々な質問に答えられるよう先生に練習をお願いし準備していました。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

保育に関する専門的な知識を学び、ピアノの授業、体育などもあります。図工の授業ではお面を作ったり様々な表現技法を試したりし、子どもの目線になって楽しんでいます。保育内容研究表現の授業では、音や言葉、動きなどを授業の中で感じながら自由に表現することを楽しんでいます。



Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

実習では1日が終わり家に帰ってから日誌を書くことに苦労しますが、園では子どもたちが「一緒に鬼ごっこやろう！」などと声をかけてくれます。

「先生僕ね、あのね…」と一生懸命話す子どもの姿が可愛く、心が温かくなります。

Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けてメッセージをお願いします。

勉強や実習の中で大変なこともあります。実際に子どもたちと関わる中で癒されています。保育者は子どもの成長を近くで感じることができる仕事だと思います。ぜひ頑張ってください。

